導入の効果とハードル　【非破壊試験】

■導入の効果

● 技術面・省力化面

積極的な活用	・測定項目や適用条件，信頼性を知り，積極的に活用できる
導入の提案	・自治体職員からコンサルタントに導入の提案ができる

● 業務面・運用面

損傷の把握	・点検診断業務で表面から確認できなかった損傷を把握できる
情報の取得	・補修設計や安全性判定に有益な情報を取得できる

■導入のハードルとその解決策

	● 導入のハードル	● ハードルの解決策（アイデア）
A 制度の変更	・非破壊調査を実施する範囲	・自治体での検討：制度変更
B 業務の変更とその手間	・特になし	・特になし
C 費用面	・機器が高価である ・発注費用が高額である	・借りられる場所（富山県立大学）を知る ・技術カタログ：必要な検査項目
D 技術的な難易度	・使い方や判定法の難易度が高い	・技術カタログを参照する ・体験講習会に参加する ・教育コンテンツで理解を深める
E その他	・特になし	・特になし